

令和5年度 第2回 北諏訪区地域協議会

次 第

日時：令和5年9月28日（木）

午後6時30分～

会場：北諏訪地区公民館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

- ・地域活性化の方向性について

4 その他

- ・次回の地域協議会の開催について

 月 日（ ）午後6時30分～ 北諏訪地区公民館

5 閉 会

北諏訪区における「地域活性化の方向性」 (案)

《北諏訪区の地域活性化に向けて》

さくらの学校、美しい田園風景、飯田川などの

北諏訪区の魅力をいかして

誰もが安全安心で住みやすい地域を目指します。

○構成要素

・ 地域の特性を活かしたイベントや活動の推進 (さくらの学校や飯田川など)
・ 地域の方々の交流促進 (地区運動会、若者が集える活動など)
・ 人口減少を緩やかにするための取組 (地域の魅力発信など)
・ くるみ家族園の利活用 (地域の交流の場として)
・ 安全・安心なまちの維持 (水害対策など)

北諏訪まちづくり振興会との意見交換会における主な意見

■ 「地域活性化の方向性」(案)について

<キャッチフレーズ>

- 2月に振興会で実施した住民アンケートの中で出てきた多くの意見が、この中に散りばめられている。全体的に見れば、美しく調和されたフレーズだと思う。
- 安全安心は、高齢者や子どものことを考えると良いと思うが、もう少しこれから楽しいことがあるようなフレーズが入れば良いと思う。
- 人が住むような、若者が集まるような、魅力あるまちづくりをすることにより人口が増えれば地域が活性化されると考えるので、そういう観点の方向性がよいのではないかと。

<構成要素>

- 振興会で実施している事業が各構成要素に含まれている。(まつりっち、たよりの発行、地域探訪ウォーキング、球根の配布など) 今後自分たちで何ができるかというところまで考えて構成要素を議論した方がよい。
- 北諏訪区の中心となる施設は小学校であり、どういった学校かということ、やはり桜の学校である。地域の人たちの地盤になるように、ますます大事に育てていこうという機運を作りたい。
- コロナ禍の影響で地域の皆さんの交流が減ってきている。スピード感を持った取組が求められている。
- くるみ家族園の利活用として、広間にステージがあるので、落語家を呼んだりして活用できないか。
- 地元の中高生が交流する機会があるとよい。